

GREEN GREEN ACADEMY

(グリーングリーンアカデミー)

＜地域課題募集要項＞

【募集期間】

令和 7 年 4 月 7 日 (月) から隨時募集

**GREEN GREEN  
ACADEMY**

〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野 487 番地 1

担当課／産業建設部 商工観光課 プロモーション戦略室

電話／0771-82-3809 ファックス／0771-82-2700

メール／shoko@town.kyotamba.lg.jp

## 1 事業の趣旨・目的

京丹波町では、少子高齢化や人口減少に伴い、さまざまな構造的な課題が生まれています。例を挙げると、「地域活動の担い手不足」、「公民館等インフラ維持の問題」、「若い世代が転出し、地元に離れてしまう」などがあります。こうした状況が続くことで、地域の活力が低下し、地元の伝統や文化を次の世代に受け継ぐことが難しくなる恐れがあります。

GREEN GREEN ACADEMY（グリーングリーンアカデミー）プロジェクトでは、地域住民と都市部の大学生が協力し合い、こうした課題の解決策を一緒に考え、行動する場をつくることを目的としています。単発のボランティア活動ではなく、デザイン思考（問題の根源を分析し、具体的な解決策を考える手法）を取り入れながら、地域の将来に大きく関わる企画やアイデアを形にしていきます。大学生は、新鮮なアイデアや専門的な知識を持ち寄り、地域の方々と直接触れ合うことで、現実的かつ魅力的な解決策を提案することを目指して活動します。他方で、地域住民は、長年培った経験や知恵を学生に伝えながら、一緒に計画を具体化していくことで、暮らしやすい地域づくりに向けた共同作業を進めていけると考えています。

本プロジェクトを通じて多様な関係者が地域の未来にかかわる機会が広がり、自分たちが大切に守ってきた土地や文化を次世代へと継承する手立てを生み出すきっかけを作り、こうした協働によって、生まれ育った地域を持続可能なまちにするだけでなく、新たな人の流れや地元の魅力の再発見にもつなげていくことを目指しています。

## 2 事業実施にあたって

本プロジェクトは大学生等との協業を前提にしています。

そのため、申請をいただいたすべての事業が必ずしも大学等とのマッチングに成功し、実施に至るわけではありません。事務局では、なるべく多くの大学や学生との連携機会を創出できるようコーディネートをおこないますが、ご希望の条件や時期などによっては最適なマッチングが難しい場合がございます。その場合、プロジェクト自体は実施できない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

## 3 募集する事業

今回募集する事業要件は以下の通りです。

### （1）課題の内容に関する要件

- ・大学生の知見を活用すべき構造的な地域課題であること
- ・地域の未来や持続可能性に関わる重要なテーマであること
- ・課題解決の可能性があり、事業化に向けた模索ができること

### （2）受け入れ体制に関する要件

- ・課題解決に向けて応募者が主体的に取り組む意志があること

- ・プロジェクト期間中、受入側で必要な協力が得られること（フィールドワークの受け入れ、公民館等の使用、ワークショップへの参加、情報提供など）
  - ・学生との共同作業に積極的であること
- (3) 柔軟なスケジュール対応が可能であること
- ・大学生の長期休暇（夏季・春季）などを活用したプロジェクト運営が可能であること

※ **実施を検討されている事業について事前に京丹波町産業建設部商工観光課にお問い合わせください。**

※ 次に掲げる事業は補助対象外です。

- ① 実現性の乏しい事業（公的機関の許認可等の見込みが十分でない事業を含む）。
- ② 一部の受益者の営利目的となりうる事業
- ③ 公序良俗に反する事業や特定の政治、宗教、思想等に関連した取り組みが含まれる事業。

#### 4 補助対象者

京丹波町に所在する法人、団体、振興会、運営委員会及び事業者で以下の事項に該当する事業者

- (1) 自らが事業の実施主体である者（コンサルティング会社等による代理申請は対象外です）
- (2) 京丹波町暴力団排除条例（平成23年京丹波町条例第23号）に規定する暴力団、暴力団員又は暴力団密接関係者でない者。または、暴力団員を有していない者
- (3) 宗教活動や政治活動を目的としていない者

#### 5 スケジュール

- (1) 応募開始（令和7年4月～）

5ページ目以降の別紙1「地域課題提案書」に必要事項を記載いただくか以下の電子申請フォームから申請をお願いいたします。

【電子申請フォーム】

<https://ttzk.graffer.jp/town-kyotamba/smart-apply/apply-procedure-alias/gga>

- (2) 事務局による審査（令和7年4月中旬～）

申請内容を確認し、「地域貢献度」「実現可能性」「継続性」「学生との協働度合い」を重視したうえで、募集要件に該当しているか事務局で審査をおこないます。

審査にあたって、申請者へのヒアリングや現地確認を行う可能性があります。

(3) 審査結果決定通知（令和7年4月中旬～）

審査終了後、審査結果を通知します。

採択事業者には大学とのマッチング実施に必要な情報等についてご案内します。

(4) マッチングの実施（令和7年4月下旬～）

大学に地域課題を提示し、マッチングを実施します。必要に応じて関係者間でのオンライン面談・現地見学会を実施しますのでその際はご対応をお願いいたします。

(5) マッチング後の打ち合わせ（令和7年5月下旬～）

大学とのマッチング後、ワークショップやフィールドワークの受入に向けた打ち合わせをおこないます。以降、プロジェクトの進捗に応じて定期的（月1程度）な事務局との打ち合わせを行う予定をしています。

(6) ワークショップの実施（令和7年6月上旬～）

受入団体・大学・事務局の三者で課題解決に向けたワークショップを実施します。課題の再定義、アイデア出し、解決に向けたアクションプランの策定を目指し、場合によっては複数回実施します。ワークショップやフィールドワークの際には、写真や動画等を撮影し、SNS等で公開しますのであらかじめご了承ください。

(7) 資金調達・事業化準備（令和7年8月～令和8年3月）

課題解決に向けたプロジェクトの方向性が見えた段階で、ガバメントクラウドファンディング・企業版ふるさと納税等を活用した資金調達を実施します。並行して受入地域側でも事業実施に向けた体制構築をおこなっていただきます。

(8) プロジェクト実施（令和8年4月～）

課題解決に向けたプロジェクトを本格化に実施します。

※プロジェクト開始後は、「活動報告会の開催」や「SNSや広報誌での活動内容の発信」を予定しています。あらかじめご了承ください。

## 6 その他

- ・採択された申請内容に関して、審査選定後に町と詳細について協議させていただくことがあります。なお、その協議の結果、実施内容について変更が生じる場合がありますので、ご了承ください。
- ・採択後、事業内容に変更が生じる場合又は、やむを得ない理由により中止する場合は必ず事前に京丹波町担当課へご相談ください。
- ・プロジェクトで得られた成果物（デザイン、資料、映像コンテンツなど）やアイデア等の著作権や利用権については、マッチング後に三者（申請者・大学・事務局）で事前に協議し決定します。

## 応募団体・事業者情報

1 応募団体・事業者等の概要			
団体・事業者名			
所在地			
代表者 (役職・氏名)			
連絡先 (担当者情報)	住所	〒	
	担当者名 (役職・氏名)		
	電話番号		FAX 番号
	E メール アドレス		
団体の活動内容			

2 提案する地域課題	
課題の名称	
課題の背景と現状	
課題解決の方向性	

3 受け入れ体制について	
プロジェクトに対する取り組み方針	
提供可能な資源	
学年の 受入可能時期 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 8月～9月（夏季休暇） <input type="checkbox"/> 2月～3月（春季休暇） <input type="checkbox"/> その他（ ）

4 期待する成果と希望する連携内容

期待する効果	
その他 事務局や大学 への要望事項	

5 同意事項

以下の事項に同意の上、応募いたします。

- 本プロジェクトの趣旨に賛同し、事業の円滑な進行に協力します。
- マッチングした場合、事務局との定期的な連絡を行い、プロジェクトを進めます。
- 申請内容に虚偽がないことを誓約します。

令和7年 月 日  
応募代表者署名 【 】

【記入例】

応募団体・事業者情報

1 応募団体・事業者等の概要				
団体・事業者名	特定非営利活動法人 京丹波振興会			
所在地	〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野 487 番地 1			
代表者 (役職・氏名)	代表理事 京丹波 一郎			
連絡先 (担当者情報)	住所	〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野 487 番地 1		
	担当者名 (役職・氏名)	事務局長 京丹波 花子		
	電話番号	0771-82-3809	FAX 番号	0771-82-2700
	E メール アドレス	shoko@town.kyotamba.lg.jp		
団体の活動内容	<p>(団体や事業者の活動内容・地域との関わりを簡単にご記入ください) (必要に応じて画像を添付していただいて構いません)</p> <p>当団体は、過疎化や高齢化の進む京丹波地区において、地域住民の交流機会を増やす活動や、伝統文化の継承事業、農業体験イベントの実施などを行っています。近年は若者との連携事業にも力を入れ、季節ごとの収穫祭や都市部の学生を招いたワークショップなどを開催し、地域の活性化に取り組んでいます。</p>			

2 提案する地域課題	
課題の名称	廃校となった小学校の利活用に関する課題
課題の背景と現状	<p>(なぜこの課題に取り組む必要があるのか、地域の状況を説明してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地域では少子高齢化により小学校が廃校となり、現在は空き施設として管理費のみが発生している状況です。</li> <li>・この施設を地域拠点として何か有効に活用できないかという声がある一方で、担い手不足や資金不足により活用方法が具体化していません。</li> <li>・自治会や地域の団体は協力したい気持ちはありますが、アイデア不足や専門的なノウハウがないため、事業化には至っていません。</li> </ul>
課題解決の方向性	<p>(どのように解決を進めていくべきか、現状のアイデアや希望する連携内容を記入してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生の新しい発想や専門的知識を取り入れ、廃校施設を地域の高齢者から子どもまでが集い交流する空間へと再生させたいと考えています。</li> <li>・例えば農産物の加工体験教室や、若者が運営するコミュニティカフェの開設など、多世代が集まりやすい仕組みを構築し、地域の魅力を再発見・発信できる場とすることを目指しています。</li> <li>・プロジェクトの初期段階では学生とのワークショップを重ね、マーケティング調査や資金調達（クラウドファンディング等）を模索しつつ、事業化プランの具体化を進めたいと考えています。</li> </ul>

3 受け入れ体制について	
プロジェクトに対する取り組み方針	(どのように学生と関わるか、どの程度の関わりが可能かを記入してください) <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校施設の管理権限を持つ地元自治会や、当団体のメンバーが中心となり、現地調査やイベント企画などで大学生をサポートします。</li> <li>・ワークショップやフィールドワークの日程調整、広報活動、資金調達のサポートなど、必要に応じて担当者を割り当て、積極的に学生と連携していきます。</li> <li>・学生に地域の理解を深めてもらうために、地域のツアー等をおこない、お互いの理解を深める場を設けます。</li> </ul>
提供可能な資源	(提供可能なワークスペース、フィールドワークの場所などを記入してください。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校施設（教室、体育館、グラウンドなど）を無償で貸し出し可能。</li> <li>・地域住民へのヒアリングやアンケート調査などをコーディネートできる人材（自治会長や当団体スタッフ）を設置。</li> <li>・農業体験や郷土料理のレシピなど、地域に根付いた実践的なノウハウを提供。</li> </ul>
学年の 受入可能時期 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 8月～9月（夏季休暇） <input type="checkbox"/> 2月～3月（春季休暇） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ <span style="color: red;">通年可能</span> ）

4 期待する成果と希望する連携内容	
期待する効果	<p>(どのような成果を期待するか、地域に与えるインパクトについて記入してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校施設を活用した交流拠点が整備され、地域住民の新しい居場所が生まれる。</li> <li>・プロジェクトをきっかけに若い世代が地域を訪れる機会が増え、関係人口・交流人口の増加につながる。</li> <li>・大学生が地域の課題と一緒に考えることで、将来的な地域おこし協力隊や移住希望者などが生まれる可能性も高まる。</li> </ul>
その他 事務局や大学 への要望事項	<p>(サポートや追加の希望事項などがあればご記入ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金調達や広報活動についてのアドバイスやサポートをいただきたい。</li> <li>・ワークショップの進め方やデザイン思考の導入方法など、学生の指導で必要な外部講師や専門家との連携も紹介していただけると助かります。</li> <li>・成果発表やプロジェクトの途中経過を町広報やSNSで取り上げていただき、地域外の方々にも広く知ってもらいたい。</li> </ul>
5 同意事項	
<p>以下の事項に同意の上、応募いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本プロジェクトの趣旨に賛同し、事業の円滑な進行に協力します。</li> <li>■ マッチングした場合、事務局との定期的な連絡を行い、プロジェクトを進めます。</li> <li>■ 申請内容に虚偽がないことを誓約します。</li> </ul>	
<small>令和7年4月1日</small> <small>応募代表者署名 【 京丹波 一郎 】</small>	